

研究に関するご協力をお願い

一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院・薬剤科では、倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。当院における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025年 1月

一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院・薬剤科 猪狩 政則

■ 研究課題名 発熱性好中球減少症における細菌培養の実施と抗菌薬治療の現状について

■ 研究期間 5年間

2020年1月 ～ 2024年12月

■ 研究の目的・意義

抗がん化学療法を行う場合、副作用として骨髄抑制がある。好中球が減少すると発熱する危険が高く、死に至ることもあるため適切な抗菌薬治療をする必要がある。本研究では当院における抗がん化学療法での発熱性好中球減少症と細菌培養結果、抗菌薬治療内容を明らかにすることを目的とし、本研究の成果により、抗がん化学療法の種類で発熱性好中球減少症のリスクが明らかとなる。今後リスクが高い抗がん化学療法はあらかじめ予防する事が出来る可能性がある。

■ 研究対象となる方

2020年から2024年の5年間の発熱性好中球減少症と診断された患者が対象とする。

■ 研究の方法

2020年から2024年の5年間の発熱性好中球減少症と診断された患者を電子カルテで抽出し、がんの種類、抗がん化学療法、細菌培養結果、治療内容を後ろ向きに調査する。患者情報に関しては氏名等の情報を削除し研究IDに置き換えて使用することとする。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

・利用を開始する予定日 2025年3月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院薬剤科であり、研究責任者はや薬剤科 猪狩政則です。集められた情報の管理責任者は一般財団法人脳神経疾患研究所理事長・渡邊貞義であり、それらの情報は同法人総合南東北病院薬剤科科で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

- ・提供先なし

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関してご質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒963-8563 福島県郡山市八山田七丁目 115
(一財)脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院
薬剤科 担当：猪狩 政則
電話：024-934-5322 (受付時間：8：30～17：00)

2024.11.1～